

PRESS RELEASE

報道関係各位

2015年3月4日

株式会社ココノッツ

新聞の医療記事はどう読まれているか？

— ヘルスケア専門のPR会社ココノッツが新聞の医療記事に関して調査 —

ヘルスケア領域にフォーカスした広報活動を展開しているPRコンサルティングファームである株式会社ココノッツは、このたび新聞で報道される健康や病気に関する記事（以下医療記事）に対する読者の受容に関する調査「新聞の医療記事に対する生活者の受容状況調査」を、30歳以上の男女520名を対象に行いました。新聞社自体による媒体調査ではなく、第三者的な立場からの「医療記事」に関する調査はこれまでほとんど例がないと考えられます。

健康や病気、あるいはその治療法などをテーマとした報道は社会の関心も高く、さまざまなメディアで取り上げられています。最近ではインターネットの普及もあって、医療情報が社会にあふれている状況とも言えます。それらの情報を生活者はどのように受容し、また活用しているのでしょうか？

そのような問題意識のもとに今回、医療報道の中核をなすと考えられる新聞に焦点を絞り、新聞のいわゆる「医療記事」に対する生活者の受容実態を明らかにすることを目的として調査を行いました。

調査対象：新聞を週2、3回以上読んでいる満30歳以上の男女計520名
(男性260名、女性260名)

実査日：2015年1月27日

【調査結果の概要】

1. 医療情報の入手経路として頻度が高いのはテレビ、新聞、インターネットの3媒体で大きな差はありません。テレビは各年代とも頻度が高く、60歳以上では新聞が最も高くなっています。
2. 新聞の医療記事が「信頼できる」、「やや信頼できる」と答えた人は合わせて88%に上りました。その理由は新聞社への信頼に基づいていることが示唆されました。
3. 「かかりつけ医による説明と新聞の医療記事では、どちらからの情報がより信頼

できると思いますか？」とあえて質問したところ、「かかりつけ医」と答えた人が75%に上ったのは当然として、「新聞の医療記事」と答えた人が25%と4分の1を占めたことは注目されます。

4. 読者が知りたいと思っている情報は、①健康を維持するための情報、②自分や家族がかかっている病気の治療法、③最新の知見の3項目で半数近くに上りました。
5. 医療記事にぜひ書いてほしいという情報は、①副作用や弊害などのマイナス面の記載、②治療コスト、③詳しい背景説明などが挙げられ、「治療の新規性」はそれほど重要視されていないことがわかりました。
6. 「記事が自分自身や家族、友人などの病気の治療に実際に役だったことがある」と答えた人が29%いました。
7. 記事を読んで実際に行動を起こした人も多く、実際に健康法を試してみた人が31.5%、食事や生活習慣などを変えた人も29.8%いました。一方、行動を起こしたことがない人は38.5%でした。
8. 一方、記事を読んで、何らかの不利益を受けたことがあると回答した人も9.6%いました。

以上

■詳細は別紙資料をご参照ください。

株式会社ココノッツについて：

医療の進歩による価値ある医療情報も適切な広報活動が行われなければ、患者さんやその家族のもとに届くことはありません。これは情報の発信側にとっても患者さんにとっても、広く社会にとっても不幸なことと言えるでしょう。

ココノッツは、正しく有用な知識と情報を多くの人たちに伝え、理解を得ようとする活動を通じ、健康で健全な社会の実現を目指す2008年設立の広報コンサルティングファームです。

本件に関するお問い合わせは、下記まで：

株式会社ココノッツ 担当：君島邦雄

TEL：03-5212-4888 FAX：03-5212-4887 Email:info@cocoknots.co.jp

2015年3月

新聞の医療記事に対する生活者の受容状況調査結果

株式会社ココノッツ

調査対象：新聞を週2、3回以上読んでいる満30歳以上の男女計520名

(男性260名、女性260名)

年齢分布：30代：104名、40代：104名、50代：104名、60歳以上：208名

調査方法：ネット調査（調査実施会社：株式会社マクロミル）

実査日：2015年1月27日

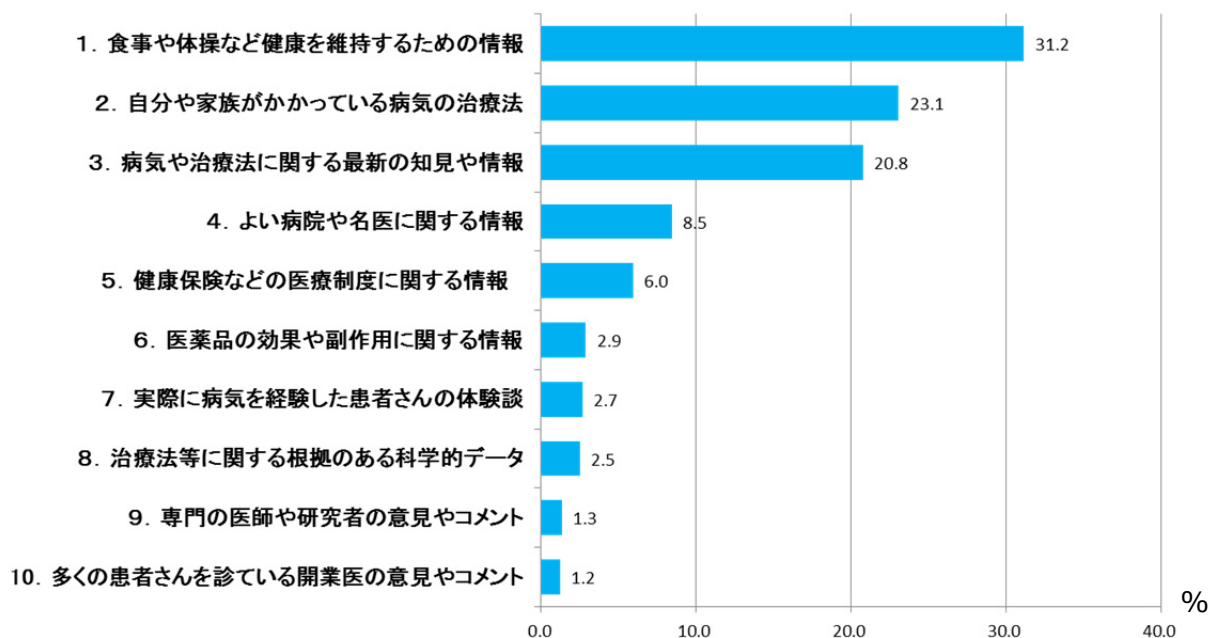
調査企画：株式会社ココノッツ

調査の回答に当たって、次の下記の注意喚起を行いました。

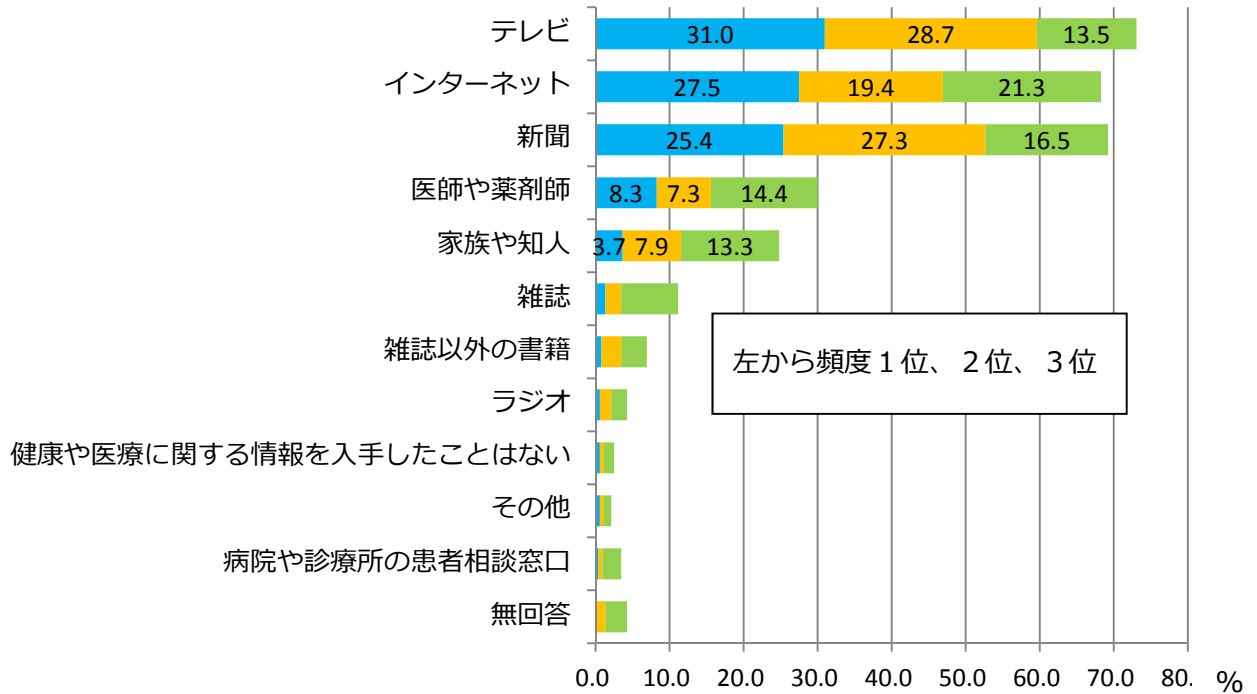
「新聞には、健康を保つ方法、症状や病気の説明、それらの検査や治療法、闘病中の患者さんの取材など、さまざまな医療記事が掲載されています。それらの医療記事について、以下の質問にお答えください。なお、製薬会社や健康食品、健康器具などが出している新聞広告についてはありませんのでご注意ください。」

質問1：健康や医療に関する情報で、あなたが知りたいと思うのは次のうちどれですか？（優先順位の高い順に3つお答えください）

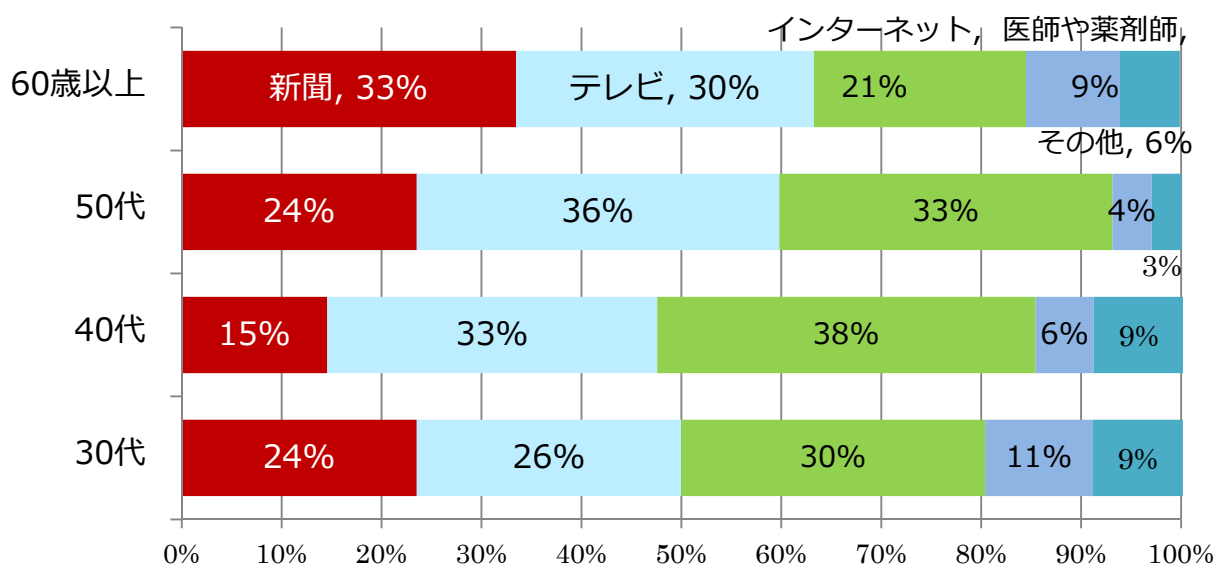
優先順位1位とした項目



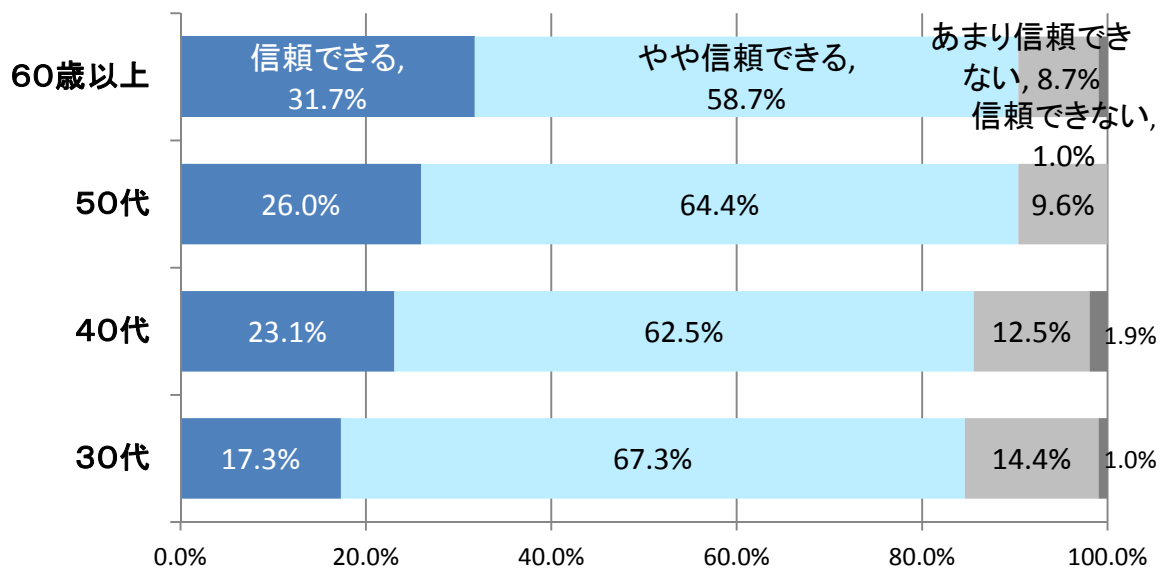
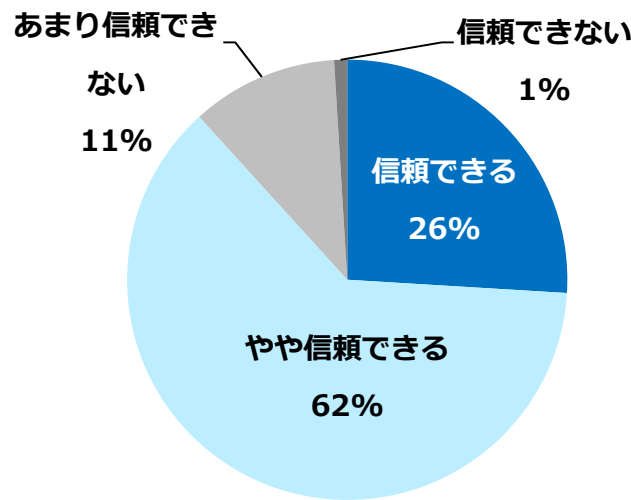
質問 2 : あなたは健康や医療に関する情報をどこから入手していますか？
(頻度が高い順に3つお答えください)



年代別頻度 1 位の媒体



質問3：新聞に掲載される健康や医療の記事の内容は信頼できると思いますか？



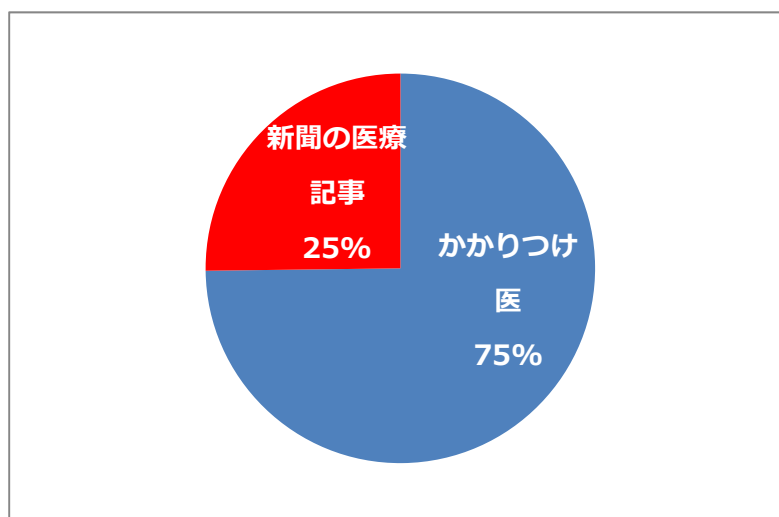
【信頼できる理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 信頼のおける機関、人物等に取材して記事にしていると思うので。
2. 情報源も多いし、新聞社の良識がかかっているから。
3. 最新の情報が掲載されているから。インターネットよりも信頼感もある。
4. 全国紙の新聞の記事は、変な雑誌やインターネットより信頼出来るから。
5. 新聞社を信頼しているから。
6. 新聞記事は全面的に信頼できると思っている。
7. 信頼できる新聞社が記事にしているから信憑性があると思う。
8. 新聞記事が信頼出来ない世の中では困ります。
9. 新聞は社会の公器だから虚偽は考えられない。
10. ちゃんと取材して載せていると思ってるから。

【信頼できない理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 知識としては役に立つが、その記事だけで信頼することはない。同じような情報が複数確認された時に信頼する。
2. 新聞が正しいとは思っていないから。
3. 客観性の証明まで書いていない。
4. 記事によって正反対の時があるから。
5. 数年後よく“あれは間違い”とか訂正されるから。
6. 科学がどんどん進歩しているので古い情報かもしれない。
7. 人間が書くものだから。
8. 新聞に掲載されるのは広告費などの利害関係が含まれていそうだから。
9. 広告ではないかと思ってしまうから。
10. 特定の医師の意見ではダメ。もっと幅広くないと信用できない。

質問4：かかりつけ医による説明と新聞の医療記事では、あなたにとってどちらからの情報がより信頼できると思いますか？



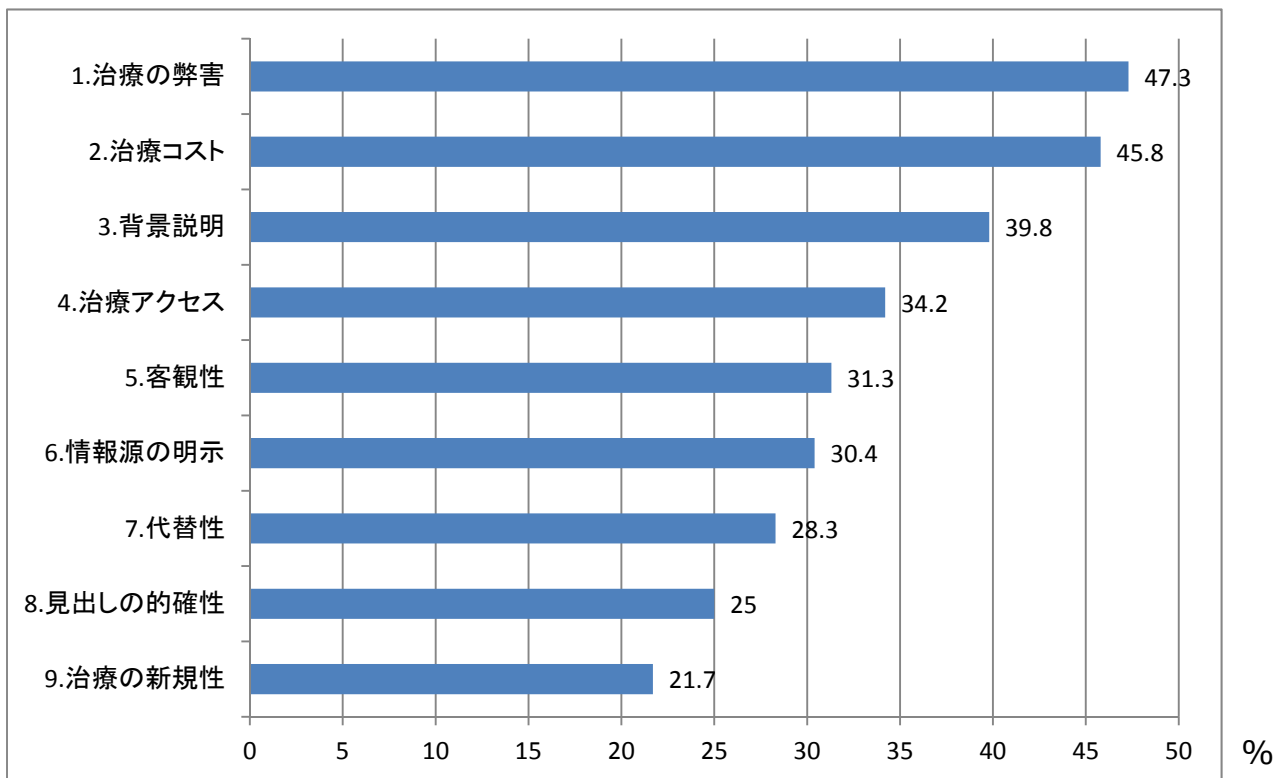
【かかりつけ医の説明の方を信頼する理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 普段診察しているので、かかりつけ医を信用します。
2. 実際にみてもらっている先生をより信じます。
3. 自分にあった治療法を考えてくれるから。
4. 自分の病気や健康状態を把握しているのがホームドクター。
5. 自分の病歴を知ってくれているので。
6. 目を見ては話せるから。
7. 総合的に病気の情報を把握してもらっているので安心。血圧や糖尿や高脂血症や多角的に見てアドバイスをくれる。
8. 長年にわたる信頼関係があるから。
9. 10年以上みていただき、家族の体質等を考慮の上、新しい事もとりいれて診てくれているので。
10. 実際自分の体を診察して説明してくれているので。

【新聞の医療記事の方を信頼する理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 新聞の方が幅広く最新の情報を調査していると思われる。
2. 世界のトップレベルの医療記事、あるいは権威者の取材に基づくものと思うから。
3. かかりつけの医者だと言われた通りしないといけないが、新聞は必要だと思うことだけ信じればよいから。
4. 一人の医師の見解よりも複数の知見の集合体のほうがより確かだと思うため。
5. 情報が、多くの方々の目にさらされてチェックを受けるのが新聞だから。かかりつけ医とはいえ一名だけが発信する情報は不安。
6. かかりつけ医のレベルにもよりますが、ほぼ医者勉強せずに過ごすので最新の科学的根拠が載りやすい新聞の方がいいです。
7. 専門的で新しい情報だと思うので。
8. 公平な立場で記事を書いていると思うから。
9. セカンドオピニオンとも言えるから。
10. 定期的にお世話になっているかかりつけ医はいないので、一般的なケースを紹介している新聞記事を基に自分の場合はどうなのかを判断したいから。

質問 5：新聞の医療記事にぜひ書いてほしいと思う情報は何ですか？



【1. 治療の弊害：記事に書かれている治療法や検査などを行うことによる副作用などの弊害を書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 新療法には特に副作用を書いてほしい。
2. マスメディアが担うべき役割だから。ここを隠そうとしたがゆえの各種薬害訴訟だと私は考える。
3. マイナス面も重要な評価項目であるため。
4. メリットデメリットを含めて判断材料にしたいから。
5. よいことだけではなくリスクも知ることによって自身にあった治療法が見つけていけるので。
6. 副作用が怖いから、またその副作用を覚悟して治療にのぞみたいから。
7. 副作用の弊害などは伏せられてしまっていることが多いためはっきりと記してほしいと切に思います。
8. 良い面だけでなく悪い面も知っておきたい。
9. 医師に聞けない時にわかるから。
10. 治療を受けるにあたって副作用の情報も治療を受けるかどうかの決定につながるから。

【2. 治療のコスト：記事に書かれている治療法や検査などを受けるための費用負担を書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 一番大事な問題。何よりも医療費負担が重ければ無理。
2. 大体の目安でもよい、額によっては受けられない場合がある。
3. 健康保険適用対象かどうか知りたい。
4. 現実的に受診出来るかの判断材料になるので。
5. 高額だと受けられないから。
6. 高負担なら、逆に治療法があっても悲しい。
7. いくら良い治療法でも費用が高ければ意味がないから。
8. 費用も含め、補助金制度などあれば記載してほしい。
9. 高齢で年金生活なのであきらめる場合もあるから。
10. 年金生活者には必要不可欠な情報。

【3. 背景説明：記事に書かれている治療法や検査の対象となる病気や症状などのわかりやすい説明を書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 専門的なことはよくわからないので、わかりやすい説明は必要です。
2. 専門的な難しい言葉で書かれても、意味がわからないと困るから。
3. 病気発見の参考などにする。
4. 専門的に書かれていてわかりにくいときがある。
5. 自分がかかっている病気を把握しているとは限らないため。
6. その症状が自分（または周りの人）に当てはまるかどうかを知りたい。
7. 病院にかかるほどではない自分や家族の体調などが病気なのかどうか調べることができるから。
8. 医学的専門知識がなくても理解できるようなわかりやすい表現でなければ読みたくないから。
9. 発病初期の一番身近な問題、気になること。
10. その病気が自分の症状に一致しているかの判断ができるから。

【4. 治療アクセス：記事に書かれている治療法や検査などがどこで受けられるかということを書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 悩んでいる人には一番知りたい情報ではないかと思う。
2. 良い治療法があってもどこで受けられるかわからなければ意味がない。
3. 生活圏内の病院や施設で、治療を受けることができるのかどうか知りたい。
4. 自分の病気の症状などが記事と同じであればどこの病院が一番良いか知りたい。
5. 結構、専門と総合外来の正確な情報は少ない。
6. 近場でないと受けたくても受けることができない。
7. 受けられない病院も多いので。
8. 調べる手間が省けるから。
9. 診療科目だけでは医療機関は判断できないことが多い。
10. 自分に合った治療法なら即受りたい。

【5. 客観性：記事に書かれている治療法や検査などの客観的な効果を書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 新聞という以上、客観性が重要なので。
2. 新聞は常に客観的であるべきだから。
3. 信憑性が高まる。
4. 新聞記事はどうしても抽象的になるから客観的に記載してほしい。
5. 数多くのデータを知りたい。
6. 客観的な効果が特に知りたいから。
7. 宣伝ではない情報がほしい。
8. 結局、客観的にそれを第三者が正しいものだと言ってくれてないと信じられないから。
9. 客観的な評価を期待する。
10. 情報の根拠を知りたいから。

【6. 情報源の明示：記事内容の根拠となっているデータや資料、あるいは専門医などの情報源を書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 記事の信頼性の判断になるから。
2. 情報源が信頼に値するかがポイント。
3. インターネットでも信用性のあるデータがあまりないから。
4. 情報のソースがガセということもあり得るので、根拠となったものは必ず書いてほしい。
5. 根幹となるデータ・資料を提示しないものは信用できない。
6. 記載内容の根拠をはっきりと示して読者が的確に判断できるようにしてほしい。
7. 少なからず客観性を証明できる情報だと思う。
8. 記事内容の確かさを判断する重要な点だから。
9. 効果及びサンプル数やデーター調査期間など具体的な記載。
10. 費用や場所は調べればわかるから。

【7. 代替性：記事に主に書かれている治療法や検査の他に選択できる治療法や検査があるかどうかということを書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 個別のケースによって最適な選択が異なると思うから。
2. 人によって、あるいは症状によっては他の選択肢を選ぶ必要があるかもしれないから。
3. 患者はいろんな情報を知って治療したいし、知る権利があると思う。
4. 治療の道しるべのようなものがほしいので。
5. 選択肢があるなら、自分で選びたいから。
6. 他の選択肢は教えられないとわからないから。
7. ほかにも選択肢があることをわかった上で選びたいから。
8. 一番良い治療法だけではダメだった場合を想定できるから。
9. セカンドオピニオン的に利用したいです。
10. 参考にして何処に検査に行くか判断の資料にしたいので・・・。

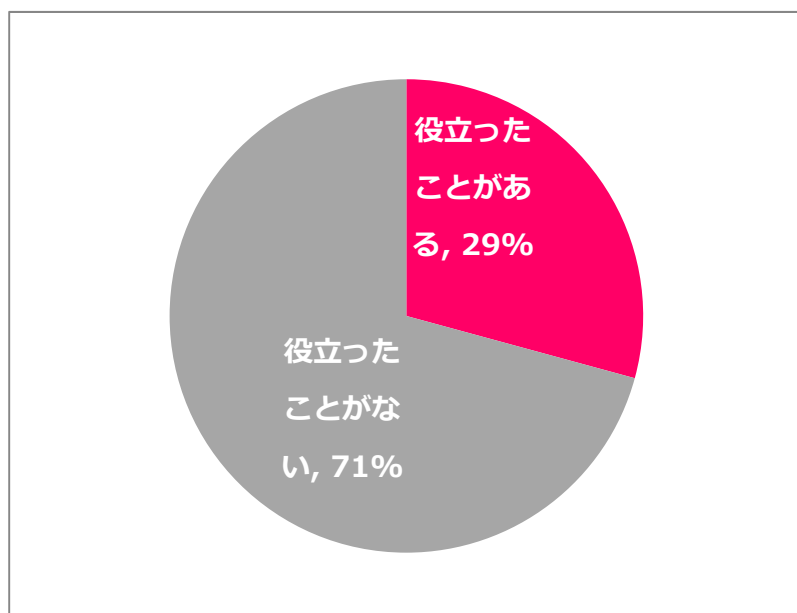
【8. 見出しの的確性：一目で的確に記事の内容が把握できる見出しを書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. その記事を読むかどうかの判断は、見出しによるから。
2. 新聞記事のすべてに目を通してはいるわけではないので。
3. 毎日すみからすみまで読めるわけではないので、「見出し」はとても重要だと思うから。
4. まずは見出しを見て興味のある記事を読むから。
5. ほしい情報をすぐ見つけられるように。
6. 知りたい情報がすぐに見つけられるから。
7. 見出しにより関心度がわかる。
8. 興味がなければ読まなくてすむから。
9. 見出しで記事が見つけやすい。
10. ベストマッチが重要。

【9. 治療の新規性：記事に書かれている治療法や検査などの、どのような点が新しいかということを書いてほしい理由（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 新聞では、最新情報を知りたい。
2. 従来の治療法との違い今後の治療法など。
3. 出来るだけ新しい治療法を受けたい。
4. 一番知りたいこと。
5. 他に確かな情報を得られそうにないから。
6. 自分はその病気なら話はわかるが、そうでないとして情報として最先端を知りたい。
7. 変化した理由が患者の視点で変わっているのか確認したい。
8. 今までの治療が不満なら試してみたいから。
9. 新しい治療法を知りたい。
10. 世界の医療革新に関することだから。

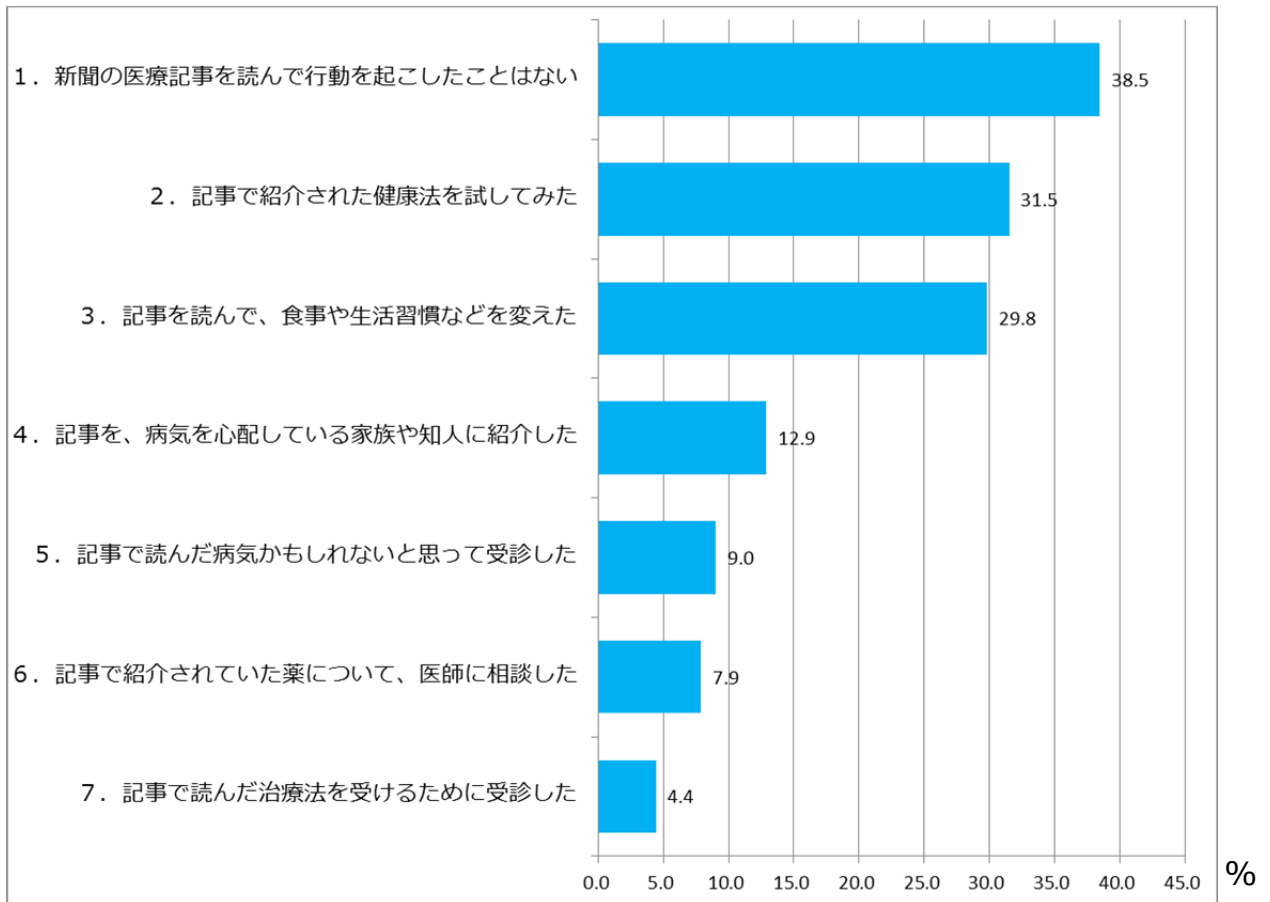
質問6：新聞の医療記事を読んで、ご自身や家族、友人などの病気の治療に実際に役立ったことがありますか？



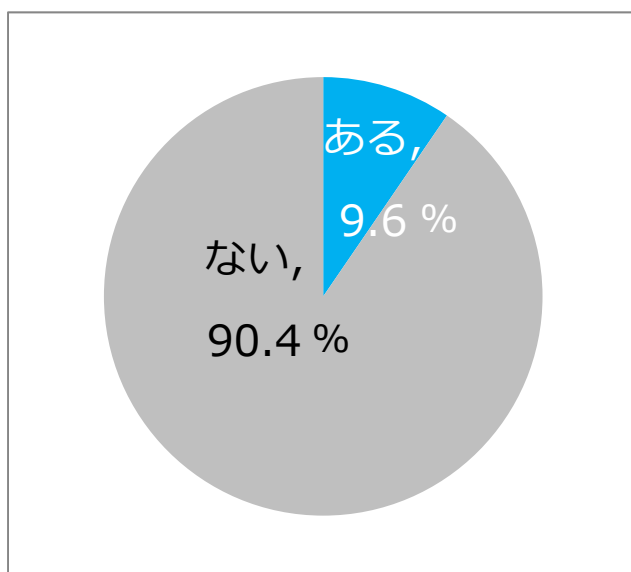
【実際に役立った例（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 友人がある病気で悩んでいたときに、新聞で知った専門のクリニックを教えてあげてとても喜ばれた。
2. 長期にわたりかかりつけ医の診察を受けていたが新聞記事をきっかけにセカンドオピニオンを受けたら診断が変わった。
3. 体の異変と記事の症状が似ていて病院で症状の発見につながった。
4. C型肝炎の治療を決心できた。
5. 早く病院に行くことができた。
6. 書かれている症状が自分に当てはまり、治療を早くスタートするきっかけになった。
7. 専門医に掛ることが出来た。
8. 実際にその病院に行った。
9. 記事に関して、主治医に説明を受け、納得して治療を受ける事ができた。
10. 主治医に言われたことと記事が同じだったこと。
11. 子供の場合の対処方法(インフルエンザやノロウイルスなど)は、心構えができ、いざ病気にかかってしまった時に冷静に対処できた。
12. 症状があっても慌てることはないとわかった。
13. 同じ症状で悩んでいる人がたくさんいることが分かり、安心した。
14. 専門的な知識を分かりやすく説明してくれて納得できた。
15. 家族が病気になった際に予後について情報が参考になった。
16. 肩こりの運動や取り組んでいる診療所を知った。
17. 実際に自身の症状を知ることができた。どうすれば良いかを知った。
18. 乳癌治療法について、どのような成り行きか知り得たので、気持ちにゆとりを持ちました。
19. 治療法がいくつかあり、そのどれを自分が選択しているのか大局的に理解できた。
20. 医療治療の進歩具合を知ること。

質問7：新聞の医療記事を読んで、実際に次のような行動を起こしたことはありますか？（複数回答）



質問8：新聞の医療記事から得た情報が間違っていた、効果がなかった等、記事に対して不満を感じた例やなんらかの不利益を受けた経験がありますか？



【不利を受けたのは、具体的にどんなことですか？（自由回答から抜粋・順不同）】

1. 症例が似ていて受診して薬をもらったがまったく効果がなかった。
2. 不利益というほどではないですが、アトピーに関する情報で、ある人に効果があったということで家族からその治療をするよう勧められましたが、私にはあまり納得できるものではなかった。
3. 野菜から先に食べることを5年以上前からやっているが効果なし。
4. 癌治療の記事を紹介したが、全く信用されず気まずい人間関係を体験。
5. 食事療法などは、人夫々のそもそものデータ（血液検査等）で違っているので、取り入れたからとしても不利益と言うほどのことはありませんが、大きな効果・改善がみられるものではなかった。効果が表れる期間にも個人差があるので、そうだからと言って別に記事が間違っているとかそういう観点では読んでいませんが。
6. 病院名が記載されていたので問い合わせしてみたところ、そういった治療はやっていないと言われた。
7. 記事の話題をして、医者にその見解、間違っていると言われたとき。
8. 情報が大きく変わっても報道されないため、古い間違った知識を持っていた。新しい情報になったときも責任を持って報道してほしい。
9. ダイエットに効くという食べ物を紹介されていたが、実は後々その食物の取り過ぎは逆によくないと真反対の意見が出ていた。
10. 歯磨きは食後直ぐだったが今は少し過ぎてからの方がよいということになっている。

以上